



加監発第56号  
令和4年3月16日

加須市長 大橋良一様  
加須市議会議長 新井好一様  
加須市教育委員会教育長 渡邊義昭様

加須市監査委員 秋本政信

加須市監査委員 田中良夫

令和3年度定期監査の結果（学校監査）について（報告）

地方自治法第199条第4項の規定に基づき、及び加須市監査基準に準拠し、定期監査を執行したので、同条第9項の規定により、その結果を別添のとおり報告します。

# 令和3年度学校定期監査結果報告書

## 第1 加須市監査基準に準拠している旨

監査委員は、加須市監査基準（令和2年加須市監査委員告示第4号）に準拠して監査を行った。

## 第2 監査の種類

地方自治法第199条第4項の規定に基づく定期監査

## 第3 監査の対象学校

- (1) 不動岡小学校
- (2) 三俣小学校
- (3) 礼羽小学校
- (4) 北川辺東小学校
- (5) 原道小学校
- (6) 元和小学校
- (7) 昭和中学校
- (8) 北川辺中学校

## 第4 監査の着眼点（評価項目）

市立の小学校及び中学校の事務に関して関係法令が遵守されているか、また、備品の管理やその他校長の権限に係る財務等に関する学校事務の執行が適正かつ効率的に行われているかに主眼を置き、監査を実施した。

## 第5 監査の期間

令和3年12月24日～令和4年3月14日

## 第6 監査の実施内容

令和3年度（1学期及び2学期）の学校経営状況や主要業務等に関する事務の執行状況等について必要な資料及び関係書類の提出を求め、監査委員が各学校を訪問し、関係職員からの説明を聴取するとともに、学校施設の現況を確認した。

## 第7 監査の結果

学校経営状況や財務等に関する学校事務の執行については、おおむね適正かつ効率的に運営されていることを確認した。

なお、本監査における学校の状況及び主な意見は次のとおりである。

## 1 総括的事項

学校経営に係る事業の管理については、各学校とも、加須市人づくり宣言をはじめ加須市人づくりプラン等を念頭に、学校規模、校風や児童・生徒、地域の実情等を把握された上で目指すべき学校像を定め、それらの実現に向けて各種取組事項を掲げた学校グランドデザインを明確に定めていた。

その経営・運営に当たっては、校長のリーダーシップの下、教職員間の情報の共有化が図られており、また、保護者や学校評議員をはじめ連携している地域の方々に対しても、共通理解を図りながら行われている。

なお、全体の学校経営・運営状況及び個別的事項は、次のとおりである。

## 2 学校経営・運営状況について

### (1) 組織について

校長・教頭を中心とした教職員の役割分担が明確に定められ、それに基づいた業務が行われており、責任体制も確立されている。

また、教職員の異動や新任教員の割合が高く、在校年数の短い学校もあるが、日ごろから教職員間の情報の共有化が図られるなど組織体制の強化に取り組まれている。

さらに、コロナ禍においても、常に児童・生徒の立場を第一に考え、教職員の協議の下、新型コロナウイルスに感染させない中で思い出に残るイベント等の実施に可能な限り努められている。

教職員の平均在校時間について、特に中学校では部活動の指導もあることから長くなる傾向が見られた。また、年度当初は新年度の準備作業等のため、特に主幹教諭や教頭の在校時間が長くなる傾向が見受けられた。

今回訪問した全ての学校で、パソコンとＩＣカードを利用した教職員の在校時間管理を行っていた。今後も適切に在校時間の管理を行うとともに、教職員の長時間勤務の改善に向け取り組まれない。

また、教育委員会も、各学校から提出された勤務状況の資料等を活用し、市内全体の勤務時間の傾向等の情報提供を行いながら、超過勤務の削減に向けた各学校への指導を行うなど、働き方改革の推進に努められたい。

### (2) コロナ対策・欠席状況について

コロナ対策について市教育委員会と連携を図り、また、各学校においても徹底的にコロナ対策を実施していた。

また、緊急事態宣言中の２学期当初は、市内全学校でオンライン授業を実施していた。

なお、児童・生徒の長期欠席等の状況について、コロナ禍以前と比較して大きな

変化は見られないが、一部では家庭の協力がなかなか得られない状況もあるとのことであった。

長期的な対応が必要となるが、家庭との信頼関係の構築及び家庭教育に努め、児童・生徒の学校への復帰についての取組みを進められたい。

### (3) G I G Aスクール構想への対応について

令和2年度3学期中に、各学校とも児童・生徒の使用する端末や普通教室への無線LAN工事等の利用環境の整備が終了し、令和3年度1学期からは本格稼働を始めていた。

タブレット端末を活用した授業研究や研修の中で、端末の効果的な活用だけではなく、教科書を使った既存の授業効果の見直しなどについても研究を進めていただきたい。

なお、緊急事態宣言中の2学期当初は、市内全学校でG I G Aスクール設備を活用したオンライン授業を実施したことにより、教員全体の技能が向上したとの話が聞かれた。

今回の監査において、多くの学年で実際に授業中に使用しているところを視察できたが、個別端末を利用した授業の増加、家庭でのゲーム機やスマートホン等の使用時間の増加などもあるため、学期ごとに視力検査を行うなど、児童・生徒の視力の低下については注視していただきたい。

※GIGAスクール構想：1人1台端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、学校教育の良さと最先端のICT技術により、子どもたちの能力を最大限に伸ばすことを目的とした取組。

Global and Innovation Gateway for Allの頭文字をとっている。

### (4) 地域との連携について

学校応援団活動について、昨年度に引き続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため、その活動が大幅に制限・縮小されていた。しかしながら、登下校の見守りなど児童・生徒の安全を確保する取組については引き続き全学校で行われていたほか、可能な範囲で体験授業等についても実施をしていた。

各学校とも新型コロナウイルスの影響により、学校応援団の方々と児童・生徒が触れ合う機会が大幅に減少し、従来とは異なる状況が続いていた。

なお、今のところ活動に大きな支障はないようだが、学校応援団等の高齢化等により登録人数が減少している学校も見られることから、新たな人材の発掘が望まれるところである。

※学校応援団：学校における学習活動、安心・安全確保、環境整備などについてボランティアとして協力・支援を行う保護者・地域住民による活動組織のことで、平成17年度から埼玉県教育委員会が取り組み始め、平成28年度には埼玉県内全ての小・中学校で学校応援団が設置されている。

### (5) 災害時の対応及び防災対策について

各学校とも災害別の危機管理マニュアルを整備し、様々な災害や不審者を想定した避難訓練が実施されている。今後も、災害時等に児童・生徒の命を守るため、継続的に工夫のある取組を実践されたい。

### (6) 予算執行状況(歳出)について

配当された学校管理費については、令和3年12月末時点で50%から80%の執行率であった。原因として、新型コロナウイルスの影響から一部の物品等の納入が遅れているものもあるとのことであった。

また、新型コロナウイルス対策の補正予算関係では、アルコール消毒液やマスクの購入のほか、密を避けるための備品類の購入も行い、学校現場で大いに活用されており、その執行率は概ね90%以上であった。

なお、各校とも1月の訪問時点では3学期中に予算執行の予定がほぼ決定しているとのことであったが、計画的な執行に努められたい。

### (7) その他学校経営において参考となる事項について

ほとんどの学校において、雨漏りをしている箇所が見受けられ、比較的新しい校舎でも雨漏りが発生する場合があるとのことであった。

現在は大きな雨漏りにはなっていないが、時間の経過とともに、より大規模な修繕が必要となる場合もあるので、学校と教育委員会できよく確認・協議をし、適切な施設の維持管理に努められたい。

## 3 各学校の個別的事項について

**不動岡小学校** 児童数232人(学級数7学級+特別支援学級数2学級)

#### (1) 学校概要等

- ・児童数は232人で、6年生以外は1学級となっている。
- ・1学級に39人となっている教室もあり、多少密状態となっている。
- ・令和4年度に大規模改修を実施予定となっている。

#### (2) コロナ禍における欠席状況等及び対応について

- ・長期欠席者は0人である。
- ・5年生と6年生に各1人の欠席日数が多めの児童がいるが、児童・保護者に対して連絡を密にとり、連携して状況の改善を図っている。
- ・コロナ感染不安による欠席者は無い。

#### (3) GIGAスクールの運用状況について

- ・情報主任を中心に、授業での活用例についての情報提供を行うなど、全教職員を対

象とした研修を実施している。

- ・月2回のICT支援員による授業サポートや教職員研修により、活用方法の幅を広げるよう取り組んでいる。

#### (4) 地域との連携について

- ・ふれあい推進長が6人おり、その選出は各区長となっている。  
また、学校応援団は115人となっている。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、昨年度から従来通りの活動が実施できていないが、登校時の見守りに加え、一部の体験活動などの実施をしていた。
- ・下校時の安心安全見守りが少し弱い状況となっていることから、地域へのお知らせ等を実施している。

#### (5) 災害時の対応等について

- ・年3回の避難訓練を幼稚園と合同で実施したが、引き渡し訓練はオンライン授業実施期間のため実施できなかった。

#### (6) 予算執行状況について

- ・配当された予算については計画的に執行している。
- ・学校図書について古いものや利用頻度の著しく低い図書の廃棄を進め、図書の更新を行っている。

### **三俣小学校** 児童数562人（学級数18学級+特別支援学級数3学級）

#### (1) 学校概要等

- ・加須市内で2番目の規模の小学校で、児童数は562人となっている。
- ・全学年各3学級となっているが、3年生は35人学級を1年前倒しで弾力的に実施していることから、教員数に余裕がない状態ではある。

#### (2) コロナ禍における欠席状況等及び対応について

- ・長期欠席児童は6人（不登校2人、病気1人、その他3人）となっているが、担任等による定期的な連絡や家庭訪問等により、学校と児童・保護者の関係が切れることなく支援を行っている。
- ・コロナ感染不安による欠席者は4人（一時的に欠席）であった。
- ・緊急事態宣言中は時差日程を導入して、学年によって休み時間をずらし、休み時間の密を防いでいた。

### (3) G I G Aスクールの運用状況について

- ・9月にオンライン授業を10日間行ったが、最後の方では家庭での協力や子どもたちの集中が続かないなどの課題も出てきたことで、対面での授業の必要性を再確認した。
- ・学期が進むにつれ、学習指導における端末使用率の向上が見られた。
- ・始業式等での感染予防のため全校生徒が集まらない状況でも、声だけでなく、映像付きのオンライン配信をすることができるようになった。

### (4) 地域との連携について

- ・ふれあい推進長6人、学校応援団84人となっている。
- ・コロナ禍でも可能な限り会議等を実施することで、情報共有や共通理解を図っている。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動に制限はあるが、農業体験、生活学習支援、体験活動支援や花壇等の環境整備に協力してもらっている。  
また、通年で登校時の見守りを実施しているほか、下校時についても火曜日と木曜日に1学年を対象に実施している。
- ・高齢化により、新規募集による学校応援団の入れ替えが課題となってきている。

### (5) 災害時の対応等について

- ・各種訓練を実施しているが、コロナ禍の状況もあり全校児童が集まるのが困難なため、訓練の実施が難しい状況である。
- ・引き渡し訓練については、校内での新型コロナウイルス感染状況から実施できなかった。

### (6) 予算執行状況について

- ・配当された予算について、概ね計画的に執行している。

**礼羽小学校** 児童数281人（学級数11学級+特別支援学級数4学級）

#### (1) 学校概要等

- ・児童数は281人で、3年生以外は2学級となっている。
- ・大規模改修について、令和4年度に設計、令和5年度に改修工事の予定となっているが、教室数不足が想定される小学校があるようなので、順番が変わる可能性がある。
- ・水道管の老朽化から消毒用の塩素残留量が少なくなる場所や、濁り水が出る場所がある。

(2) コロナ禍における欠席状況等及び対応について

- ・長期欠席児童は6人（不登校2人、病気3人、その他1人）となっているが、生徒指導委員会の実施により、対象児童に応じた適切な対応の検討が行われている。また、外部機関との連携により、登校状況の改善が図られている。
- ・保育園や中学校等の兄弟関係で、弟に発熱があっても兄は学校に来てしまう等、対応に差が出る状況があった。

(3) G I G Aスクールの運用状況について

- ・運動会では、学校全体を2グループに分けて2時間ずつ競技を実施したが、競技を実施していないグループも、教室からオンライン応援を行った。
- ・端末を使用した書き込みで、生徒指導的な案件も発生したが、すぐに発見して全体的な注意喚起を行い対応した。

(4) 地域との連携について

- ・ふれあい推進長は6人で、各区から選出されている。また、学校応援団は58人となっている。
- ・コロナ禍においても、実施方法等を工夫することで、昔の遊び体験、町探検、うどん店訪問・うどんうち体験、大豆栽培や米作り体験など、例年以上の効果期待できる活動を行うことができた。
- ・関係者の高齢化により新規関係者の開拓が課題となっている。

(5) 災害時の対応等について

- ・各種訓練を実施している。
- ・1月には、刃物を持った男がいるとの不審者情報があった際に、実際に引き渡しを行ったことにより、課題も発見することができた。

(6) 予算執行状況について

- ・配当された予算について、概ね計画的に執行している。
- ・老朽化による蛍光灯器具の不具合が増え、その修繕も増えている。

**北川辺東小学校** 児童数188人（学級数6学級+特別支援学級数2学級）

(1) 学校概要等

- ・児童数は188人で、全学年1学級となっている。
- ・林間学校では、日光に行ったあと渡良瀬川の上流にある足尾銅山に行き植樹を行っている。

(2) コロナ禍における欠席状況等及び対応について

- ・長期欠席児童は6人となっているが、定期的な家庭訪問により、職員との信頼関係を築くなど、長期的な視野で取り組んでいる。

(3) G I G Aスクールの運用状況について

- ・全学年各学級1日1回以上の端末活用を実施している。
- ・11月には北埼玉算数科研究発表会を行い、先生も児童も端末の使用に慣れているとの評価をもらっている。
- ・学校全体で一人一研究授業の実践を行っている。
- ・ノートと端末の使い分けや、端末使用時における学習理解度の確認が課題となっている。

(4) 地域との連携について

- ・ふれあい推進長3人、学校応援団51人となっている。
- ・コロナ禍で感染状況を見極めながら活動を実施している。
- ・例年地域の方に学校農園で作った野菜の入った豚汁や野菜等を販売している「どんぐり祭り」は実施できなかった。

(5) 災害時の対応等について

- ・各種訓練を実施している。
- ・大きな河川に囲まれている場所なので、台風前の早い時期に引き渡し訓練を行っている。
- ・県外在住の職員が多いため、勤務時間外における駆け付け体制づくりに課題がある。

(6) 予算執行状況について

- ・配当された予算について、概ね計画的に執行している。
- ・灯油の予算が大幅に削減されているため、体育館等でのストーブ利用を減らしている状況。
- ・職員のD I Y研修として、なわとび練習台を作成した。

**原道小学校** 児童数134人(学級数6学級+特別支援学級数1学級)

(1) 学校概要等

- ・児童数は134人で、全学年1学級となっている。
- ・団地や施設から通っている児童も多いため、純粋な地域の児童数は100人程度となっている。
- ・創立150周年になるが、コロナ禍のため大きな事業はできないので、小さなもの

を行う予定。

- ・本格的なICカードによる出退勤管理は今年度から導入した。
- ・校長から教職員に、なるべく朝は7時30分以降に出勤するように指導している。

(2) コロナ禍における欠席状況等及び対応について

- ・感染症対策の徹底により、新型コロナウイルスや他の感染症罹患者が、例年よりも減少している。

(3) GIGAスクールの運用状況について

- ・全学年でほぼ毎日端末を使用している。
- ・オンライン授業の際に、一人で家にいられない児童は学校に来て授業を受けていた。
- ・学期ごとの視力検査から、視力の低下傾向はみられるが、家でゲームやスマートフォン等の使用もあるので、学校での端末使用だけが原因とはわからない状況である。
- ・オンラインで授業を実施するときの、授業準備時間の確保と児童の学習時の理解度を確認することが課題である。

(4) 地域との連携について

- ・ふれあい推進長1人、学校応援団45人となっている。
- ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため、活動が制限されていることから、登校の見守りと環境整備しかできていない。

(5) 災害時の対応等について

- ・水害の避難訓練と防災について、消防団員から指導・訓練を実施している。

(6) 予算執行状況について

- ・配当された予算については計画的に執行している。
- ・教室の床がカーペットのため、掃除機を用意しているが、維持管理については課題になっている。
- ・体育館の雨漏りについて教育総務課に相談しながら対応をしている。

**元和小学校** 児童数214人（学級数9学級+特別支援学級数1学級）

(1) 学校概要等

- ・児童数は214人で、1年生から3年生は2学級となっている。  
来年度以降も、新入学児童数の予想では2学級編成が見込まれるため、令和6年度には教室数が不足する見込みである。
- ・現在、年間20人程度の総児童数が増えているのは、市内でも元和小学校くらいで

ある。

- ・通学路の見直し・整備を進めている。

(2) コロナ禍における欠席状況等及び対応について

- ・長期欠席児童は2人（不登校1人、国外長期滞在1人）となっているが、保護者との教育相談の実施や、関係機関との連携推進を図りながら対応を行っている。
- ・コロナ感染不安による欠席者は無い。

(3) G I G Aスクールの運用状況について

- ・端末に導入されているベネッセのミライシードとグーグルクラスルームを使用し、画面の共有をするなどして、それぞれの意見を発表等しながら授業を行っている。
- ・端末故障時の対応としては、端末製造会社のサポートセンターに連絡して対応をしてもらい、修理が終わると市教委で各種設定をした後で学校に戻ってくる体制である。

(4) 地域との連携について

- ・ふれあい推進長4人、学校応援団31人となっている。
- ・コロナ禍のため活動が制限されることから、除草作業、樹木の剪定、花苗植え程度の実施となっている。

(5) 災害時の対応等について

- ・各種訓練を実施している。

(6) 予算執行状況について

- ・配当された予算については計画的に執行している。

**昭和中学校** 生徒数641人（学級数18学級+特別支援学級数3学級）

(1) 学校概要等

- ・生徒数は641人で、市内で一番規模の大きい中学校であり、全学年6学級となっている。
- ・学校だよりを毎月発行するほか、臨時号を随時発行している。  
また、ほぼ毎日ホームページにその日の活動状況を発信している。

(2) コロナ禍における欠席状況等及び対応について

- ・長期欠席者は40人（不登校24人、病気13人、その他3人）である。
- ・体調不良による保健室の利用も増えている。

体調不良との申し出があった場合、コロナ禍により早目に帰宅させる対応をしていることもあり、心身の耐性が弱くなってきている傾向が見られる。

- ・個別に支援を要する生徒が多くなっており、関係機関との連携・強化が欠かせなくなっている。

### (3) G I G Aスクールの運用状況について

- ・一人一端末の活用に向けた教職員の校内研修を計画的に実施している。
- ・従来のアンケートや配布物をデジタル化に移行している。アンケートについては回収率が高くなっている。
- ・9月に実施したオンライン授業では、学年ごとに一斉授業を実施し、約200人が同時に同じ授業を受けた。
- ・端末を使用することでできることも増えているが、反対に書く学習が少なくなっている。

### (4) 地域との連携について

- ・小学校と違い学校応援団は少なく、部活動の指導者等で10名程度となっている。
- ・地域貢献として清掃活動を実施している。  
しかし、コロナ禍で地域行事が中止となっているため、タイアップ活動（夏祭り後のダストバスターズ等）ができなかった。

### (5) 災害時の対応等について

- ・コロナ禍により、防災訓練が中止となったが、防災倉庫の備品の確認・点検を行った。

### (6) 予算執行状況について

- ・配当予算については計画的に執行している。
- ・I C T関連の備品（デジタル教科書）について、各学校単位での購入では学校間での差が出てしまう可能性がある。

**北川辺中学校** 生徒数210人（学級数6学級+特別支援学級数2学級）

#### (1) 学校概要等

- ・生徒数は210人で各学年2クラスの比較的小規模校となっている。  
生徒数が少ないと、人付き合いが固定しがちになる面がある。

#### (2) コロナ禍における欠席状況等及び対応について

- ・長期欠席者は15人であるが、教育相談委員会にさわやか相談員やスクールカウンセラーが対応している。

セラーも出席し、担任と連携した面談や家庭訪問、保護者との面談を行い、生徒の登校や学校生活の改善が図られている。

- ・新型コロナウイルス感染不安による欠席は3人（一時的に欠席）であった。

(3) G I G Aスクールの運用状況について

- ・一人一端末の活用に向けた教職員の校内研修を計画的に実施している。
- ・全校朝会や始業式等を、タブレット端末を使ってオンラインで実施している。
- ・9月に実施したオンライン授業で、全教員が経験しているため、必要に応じてオンライン授業への対応が可能となっている。

(4) 地域との連携について

- ・学校評議員に地元企業の社長を入れたことで、新たな視点での意見や案を出してもらっている。
- ・除草作業などをP T Aの他に、地域の有志の方に協力してもらっている。

(5) 災害時の対応等について

- ・コロナ禍により、防災訓練が中止となったが、防災倉庫の備品の確認・点検を行った。

(6) 予算執行状況について

- ・配当予算については計画的に執行している。
- ・新型コロナウイルス関連予算により、空気清浄機などの備品を購入している。
- ・校庭が広く高木も多くあることから、危険がないかの確認をしながら適切な管理に努められたい。
- ・校内設備の老朽化で使用できない機器もあるが、なかなか修理ができない状況になっている。
- ・音楽室の床カーペットが老朽化により擦り切れている。
- ・生徒玄関の屋根部分の表面タイルが大きく破損していて、防水機能が損なわれる恐れがあるため、教育委員会と協議をして適切な施設の維持管理に努められたい。